

令和1年度第1回 島根支部健康づくり推進協議会の議事概要

開 催 日	令和1年9月19日(木)
場 所	全国健康保険協会島根支部 大会議室
出 席 委 員	青山委員、伊藤委員、沖田委員、梶谷委員、高梨委員、永江委員、 増原委員、村松委員 (敬称略、五十音順)
議 題	
議 事 概 要 (主 な 意 見 等)	<p>支部長あいさつ</p> <ol style="list-style-type: none"> インセンティブ制度【議題1】 各種事業の展開(その他保健事業)【議題2】 健診事業及び保健指導の実施状況【議題3】 島根支部における医療費の状況と傾向【議題4】 その他【議題5】
	<p>1. インセンティブ制度【議題1】</p> <p>資料1により平成30年度実績(速報値)について説明</p> <p>[意見等]</p> <ul style="list-style-type: none"> インセンティブ制度で保険料率が減算されるのは何位からか。 <p>【事務局】</p> <ul style="list-style-type: none"> 上位過半数に入れば段階的に減算される。島根支部は11位であるが、1位の支部と島根支部では減算率に約3倍の開きがある。非常に大きなものであり、今回の実績については加入者の皆様や事業主の皆様に判り易いチラシを配布するなど広報を強化し、理解と協力を得ていきたい。 <p>[意見等]</p> <ul style="list-style-type: none"> 要治療者の医療機関への受診率が低いけどどのような仕組みで勧奨するのか。 健診結果の悪かった人は、しばらく自力で頑張ってみてから受診する人が多い。 <p>【事務局】</p> <ul style="list-style-type: none"> 1次勧奨を発してから3か月以内の受診率が評価される。血圧・血糖値が一定以上の方に受診勧奨をしている。受診率の高い支部は1回勧奨してすぐに再度勧奨するような取り組みをしている。 今回のインセンティブ制度の評価結果を分析すると、特定保健指導に関する項目が平均以

下となっているので、今年度下期から来年度に向けて、この部門の強化を図っていく必要がある。

[意見等]

- ・ 以前実施した、島根大学との共同アンケートの中では受診率が悪いことの要因を尋ねるような項目はあるのか。この項目については強い関心を持っている。

【事務局】

- ・ 事業所の健康づくりの取り組みの中で、要治療者に受診を促しているかどうかを尋ねている。

[意見等]

- ・ 健康宣言事業所に提供されるヘルス・マネジメントカルテは、平成29年度版が最新のものか。事業所の立場としてはできるだけ直近の健診等に基づくデータがいただきたい。

【事務局】

- ・ データは支部だけではすべてを抽出できず、本部から提供してもらっている事情もありまとめるのが遅くなっている。本部に早期化も要望していきたい。
- ・ 実際問題としてデータ提供の早期化には限界もある。事業所においては個々の数値という面だけではなく、こういった傾向にあるのか見ていただくということもお願いしたい。

[意見等]

- ・ 保険料率の減算の適用は現在の島根支部保険料率10.13%に対してのものか。

【事務局】

- ・ 保険料率は毎年度保険給付費等により変動しており、令和2年度の保険料率に対して適用される。

[意見等]

- ・ 事業主や加入者に対して、インセンティブ制度により、頑張れば保険料率が下がることをわかりやすく周知してほしい。

2. 各種事業の展開【議題2】

資料2により説明

[意見等]

- ・ 健康保険委員セミナーに参加したが、出前講座の体験や健康測定、他の健康保険委員との交流等非常に有意義なものだった。
- ・ 健康測定器具の貸し出しは、今まで健康づくりに対して関心が低かった従業員も引き付け

る面白い取り組みとなっている。また、測定は従業員同士や事業所担当者等とのコミュニケーションの場ともなっている。

- ・ 健康測定機器レンタルのうち、血圧測定器には測定結果によって受診を促すような資料は同封しているのか。

【事務局】

- ・ 血圧測定結果の見方が書いてあるチラシを同封している。
- ・ 圏域の地域職域連携会議のなかでは、脳血管疾患の発症率の減少のために、まずは血圧を測る習慣を身に付けてもらおうという動きが出ている。

[意見等]

- ・ 地域職域連携会議の中での議論は、自宅で測る人が多くなっている状況の中でもなお測定習慣が不十分ということか。

【事務局】

- ・ そのあたりのことが改善率データとして出てきていないこと等から、職場（グループ）として測る習慣を付けて欲しいということからの議論である。そのことから、保健所や自治体でも貸出し用の血圧計を購入する事例もある。

[意見等]

- ・ 受診の目安となる基準の変更や、家庭内血圧との違いといったところも分かりやすく周知することによって血圧測定に関する意識が変わっていくものと思う。

3. 健診事業及び保健指導の実施状況【議題2】

資料3、資料4より説明

[意見等]

- ・ 特定健診実施率は被扶養者についても実施していかなければいけないか。また、健診実施機関としては、事業者健診を生活習慣病予防健診に切り替えてもらう取り組みをしているが、その結果も反映するのか。

【事務局】

- ・ 特定健診実施率は被扶養者分も含まれることになる。また、生活習慣病予防健診を実施した場合は、事業者健診データを提供してもらうという手続きが不要なため有効である。

[意見等]

- ・ 平成30年度インセンティブ制度実績では、島根支部の健診実施率が3位ということであるが、生活習慣病予防健診も事業者健診も高いのか。また、鳥取支部や上位支部との差はどうか。

【事務局】

- ・ 島根支部は生活習慣病予防健診も事業者健診も平均より高い実施率である。また、実施率 1 位の支部とは偏差値で 4 ポイントの差があり、鳥取支部よりは高い状況である。

[意見等]

- ・ 生活習慣病予防健診実施機関が辞退するのはどういった理由によるものか。

【事務局】

- ・ さまざまな理由があるが、検査のできる医師が不在になったことなどがあげられる。

[意見等]

- ・ 医療機関の立場としては、今後も健診実施機関は減っていくことが懸念される。健診は検査項目が多く見逃し等のリスクが高いため、医師が不足するとまず健診からやめていくと思われる。県が政策的に医師不足を解消する取り組みが必要と考える。

4. 島根支部における医療費の状況と傾向【議題 4】

資料 5 により説明

[意見等]

- ・ 県西部のリスク保有率や医療費が高い要因は分析できているのか。

【事務局】

- ・ その点の分析はまだできていない。高齢化率は影響していると考えられる。

[意見等]

- ・ 県西部は食生活も影響していると思われる。
- ・ 健康長寿しまね推進会議等において、県とも連携し分析を進めてほしい。協会けんぽだけではなく関係した分野と連携してより良い分析・施策を実施してほしい。

【事務局】

- ・ 健診結果等のデータは国保連とともに県にも提供している。県のほうで国保とのデータと合わせた分析が進められると考えている。島根支部としてはデータをまとめるだけでは意味がないため、自治体や商工会等の連携協定先にも分析結果を提供している。

5. その他【議題 5】

その他議題なし。

特記事項

次回予定 令和 2 年 3 月